

学校教育目標	【か】よく考え 【な】なかよく 【が】がんばる 【わ】わたしたちかなっ子
	【か】 自らすすんで問題を見つけ、よく考えて判断して行動し、豊かに表現できる子どもを育てます。(知)
	【な】 自分や他者のよさを認め合い、個性を発揮しながら他者と豊かにかかわり合う子どもを育てます。(徳)
	【が】 自分の心と体に関心を持ち、すすんで健康保持に努めるとともに、体力の向上を目指す子どもを育てます。(体)
【わ】 自分が住む神奈川の「まち」について理解を深め、「まち」とともに育ち「まち」に貢献する子どもを育てます。(公)	
	多様な文化やひとの存在を理解し、視野を広げて共によりよく生きようとする子どもを育てます。(開)

学校概要	創立 148 周年	学校長 田名部 和美	副校長 松村 博行	2 学期制	一般学級: 12	個別支援学級: 4
	児童生徒数: 229 人	主な関係校: 浦島丘中学校、子安小学校、浦島小学校				

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	浦島丘中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける育成を目指す資質・能力を踏まえた「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
自己決定力 かかわり合う力 健やかな心とからだ	浦島丘中学校 子安小学校 浦島小学校	人とのつながりを大切にし、ねばり強く社会を生き抜く子
		「人と人とのつながりを豊かにする社会性」、「課題解決能力」、「創造力と発信力」の3つの共通理解をもとに「ねばり強く社会を行く抜く子」を目指す。 具体的には、年間2回の小中合同授業研究会を通して9年間で育てる子ども像の意識を共有する。また、年間3回の中学校ブロック担当者会において、教育方針を調整する。さらに、児童生徒交流日を設定して児童生徒の小中接続意識化を図る。

中期取組目標	<p>○自らすすんで問題を見つけ、よく考えて行動する子どもを育てます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年目は、子どもの自己決定を保障する取組を継続的に行うことで、主体的に学ぶ姿勢を身に付けられるようにします。 ・2年目は、子ども同士がかかわる場を設定し、対話的で協働的な学びの実現を目指します。 ・3年目は、伝え合うことで自分の考えを深められたり広げられたりすることを実感できるようにします。 <p>○他者と豊かにかかわり合う子どもを育てます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年間を通して、幼・保・小・中学校、家庭、地域と連携し、人とかわる活動を重視します。それぞれの子どもの違いやよさを認め合うことを通して子どもの自己肯定感を高めていきます。
--------	--

重点取組分野	具体的取組
知 生きて働く知	①子ども同士で関わる場を充実させ、対話的で協働的な学びの実現を目指す。 ②学年やブロックで評価規準や評価計画を確認しながら、授業づくりを行う。また、授業改善に評価を生かせるようにする。 ③授業研究を積み重ねることで深めているような重点研を目指し、より子どもが問題解決を進んで取り組める授業づくりをする。
担当 教育課程・研究推進	
徳 豊かな心	①学年目標に人権的視点を盛り込むようにする。その目標に合わせたYPプログラムを実施できるようにする。②挨拶が増えるような働きかけを継続して行う。年間を通して意識できるよう、児童会活動を行ったり、児童指導部で検討したりして各学級から継続的に指導できるようにしていく。③ペア学年活動の年間計画を立て、さらに充実させていく。
担当 特別支援・児童指導・人権	
体 健やかな体	①「レッツ体力アップ」では、前期「短縄」後期「持久走」の2種目に絞って、持久力の向上を目指していく。同じ種目を継続的に行うことで、自分のめあてに向かって「できた」という達成感を味わえるような取り組みを目指す。 ②「自ら考え行動できる学校」を目指して、保健委員会を中心に全校で健康、安全について取り組みを深めていく。
担当 体育部・学校保健	
公開 地域との協働	①各学年偏りのないよう、今年度関わった学区周辺の機関を新年度に引継ぎ、社会科や総合的な学習の時間に地域と連携の取れる活動を年度始めに計画する。 ②子どもたちが定期的に参加できるよう、地域行事について、学校運営協議会で取組を確認する。児童や教職員ともに地域行事に参加できるよう周知する。
担当 教務部	
いじめへの対応	①かなっ子安心アンケートやかなっ子面談を昨年度同様年間を通して計画的に実施する。また、YPプログラムに取り組み、いじめの未然防止をする学級づくりができるようにする。②いじめ防止基本方針について、学校運営協議会や懇談会等を利用し、学校としてどのようにいじめに対応しているのか地域や保護者に積極的に知らせる。
担当 いじめ防止対策委員会	
人材育成・組織運営(働き方)	①メンター研では、授業研だけでなく他の職員も巻き込んだ研修を行い、視野を広げられるようにする。 ②計画的、建設的な教務会の運営を図り、よりよい学校運営が進められるようにする。 ③タブレットを活用したり、内容の精選を図ったりして、スムーズな会議運営を行えるようにする。
担当 教務部・メンターチーム	
児童指導	①「かなっ子のきまり」を教師・児童・保護者で共有し、皆が同じ方向を向いて学校生活を送ることができるようにする。実態やニーズに応じて柔軟に編集していく。②企画会やブロック研の中で児童に関する情報を共有し、アンテナを高くスピード感をもって対応していく。③学校だよりやSNSで学校の取組を発信し、学校と家庭が一体となって児童を見守る。
担当 児童指導	
特別支援教育	①一般学級と個別支援学級の連携強化に向けて、校内委員会や日頃の情報共有を通して、児童理解を深め、交流の在り方や児童の実態に合っているか常に教育活動を見直す。 ②特別支援教育部会を中心に研修や情報共有を通して、学校全体の特別支援教育についての理解を深める。
担当 特別支援教育	
地域学校協働活動	①様々な学年が満遍なく参加できるよう、学校運営協議会で地域行事の開催を確認し、周知する。今年度教育活動に関わった人や機関については、新年度学年に引継ぎ、継続して交流を充実させる。 ②学校運営協議会や学校だより、SNSを通じて学校の様子を発信し、地域からの意見を反映させた教育活動を充実させる。
担当 教務部	
担当	